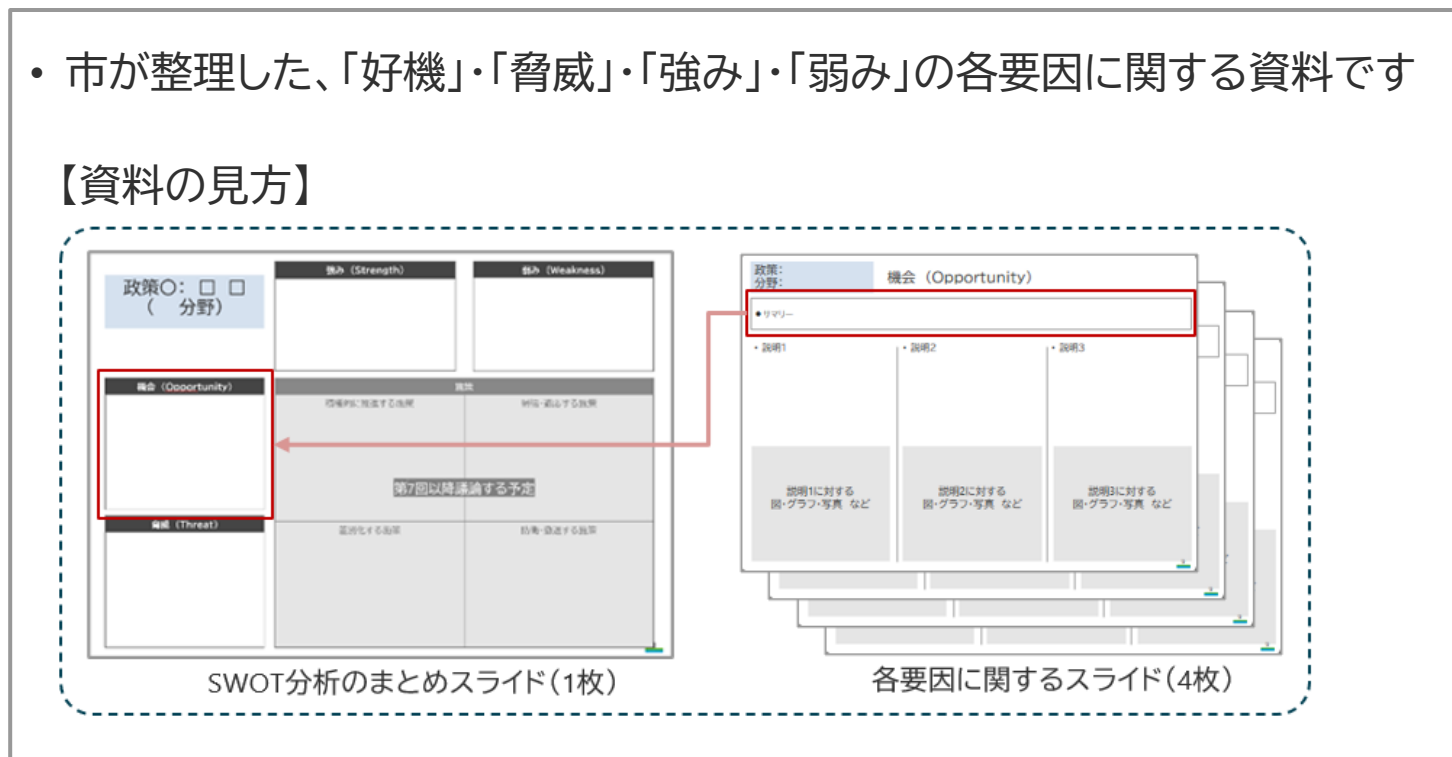


政策1：教育分野

現状と課題等の整理（SWOT要因分析）

- 市が整理した、「好機」・「脅威」・「強み」・「弱み」の各要因に関する資料です

【資料の見方】



政策1: 子育て 教育 (教育分野)

内部環境

Strength (強み)

1. 袋井型授業づくりの実践
2. ICTを活用した教育の先行導入
3. 特別支援教育や不登校対策等に関する体制整備
4. 学校教育を支える支援・連携体制の充実

Weakness (弱み)

1. 学力向上、体力・体格の改善に向けた課題
2. 不登校の解消に向けた取り組みや特別支援教育の体制強化が課題
3. 教員業務の増加に対する働き方改革の推進
4. 学校施設の老朽化などへの対応と学校を支える人材の確保などが課題

Opportunity (好機)

1. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践
2. 国の教育振興基本計画のコンセプトは、「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」
3. GIGAスクール構想のもと、1人1台端末の活用

Threat (脅威)

1. 不登校児童やいじめ事案の増加
2. 特別な支援を必要とする児童生徒の急増、外国人児童生徒の増加
3. 教員の長時間労働の問題化と教員の成り手不足。

施策

積極的に推進する施策

克服・適応する施策

第7回以降議論する予定

差別化する施策

防衛(撤退)する施策

政策1:子育て 教育 (教育分野)




Opportunity (好機)

1. 中央教育審議会から、「令和の日本型学校教育」として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が提言された。
2. 次期教育振興基本計画のコンセプトは、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」
3. GIGAスクール構想のもと、1人1台端末が活用可能に。

- 「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図ることが提言。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開し、子どもの養育環境に関わらず、必要な力を育むことが提言されている。

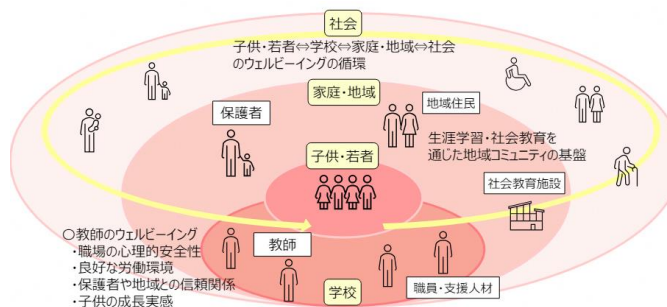
◇中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【総論解説】

＼全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／

| | |
|---|--|
|  子供の学び | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている ✓ 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている <p>#個別最適な学び #協働的な学び #主体的・対話的で深い学び #ICTの活用</p> |
|  教職員の姿 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている ✓ 子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている ✓ 子供の主体的な学びを支える伴走者としての能力も備えている <p>#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携 #学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加</p> |
|  子供の学びや教職員を支える環境 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている ✓ 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている ✓ 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている <p>#ICT環境の整備 #学校施設の整備 #少人数によるきめ細かな指導体制</p> |

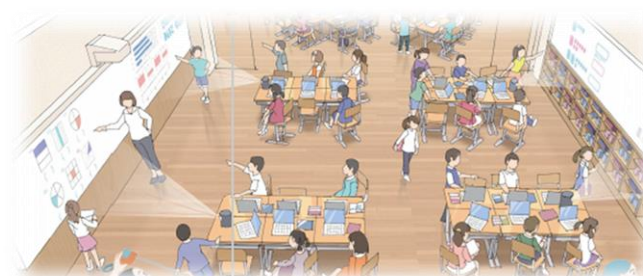
- 「持続可能な社会の創り手の育成」とは、自らが社会の創り手となり、課題解決を通じた持続可能な社会、イノベーションや生産性向上など活力ある社会の実現に向けた人への投資
- 「ウェルビーイングの向上」は、個人、地域、社会が幸せを感じられるよう、社会との繋がりや自己肯定感など、個人と社会のウェルビーイングの実現

◇教師のウェルビーイング、学校・地域・社会のウェルビーイング



- 令和時代のスタンダードな学校像として、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備された。
- ギガスクール第2期に対する国の支援の継続。

◇学びのDX(未来の教室のイメージ)



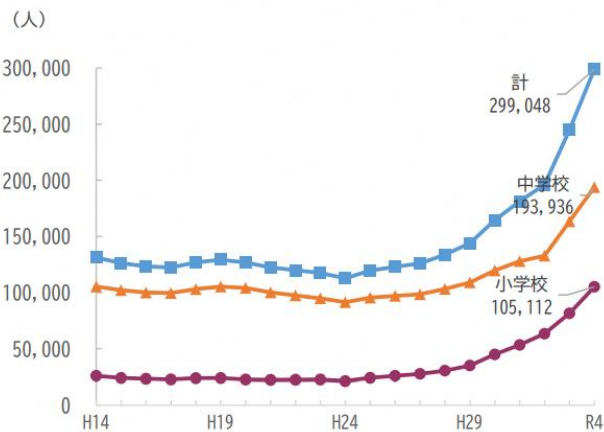
政策1:子育て 教育 (教育分野)

Threat (脅威)

1. 子どもたちが抱える課題は複雑化・困難化。不登校児童やいじめ事案の増加。
2. 特別な支援を必要とする児童生徒数の急増。外国にルーツを持つ児童生徒の増加。
3. 教員の長時間労働の問題化。教員の成り手不足による多忙化と教育の質の低下への懸念。

- 学校の教師が支援する子供たちが抱える課題は複雑化・困難化。
- 不登校児童・生徒が急増し、小中学校で約 30万人と過去最多に。
- いじめ重大事態の増加や、自ら命を絶つ事案の発生。

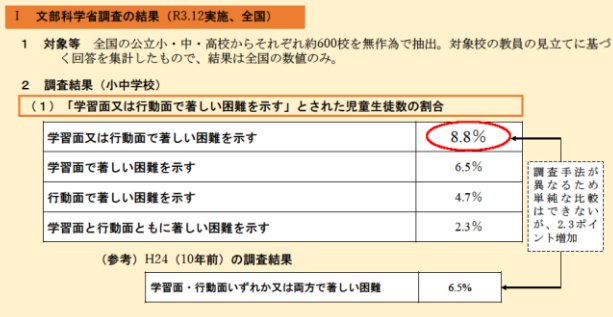
◇不登校児童生徒数の推移



児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

- 特別な支援を必要とする児童生徒の数の急増。

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について

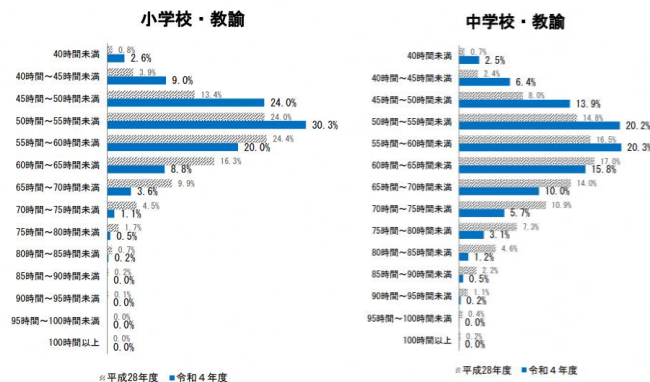


◎国の調査(令和3年12月実施)では、特別支援学級(知的、自閉・情緒、難聴、弱視、肢体)とは別に、**通常の学級において「特別な支援が必要な児童生徒」**が一定数いることが報告されている。

- 外国にルーツを持つ児童生徒の増加により、日本語指導が必要な児童生徒数は約10年間で1.8倍増。

- 教員の長時間労働が問題化。
- 平日・土日ともに、長時間勤務の教師が多い状況
- 教員の成り手不足と質の低下
- 教師の環境整備について緊急的に取り組むべき施策の提言。

◇1週間当たりの「教諭」の総在校等時間



※1週間当たりの正規の勤務時間は38時間15分。
※上記グラフは、在校等時間から休業日の出勤時間を一律で差し引いている。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。

政策1:子育て 教育 (教育分野)

Strength (強み)

1. 「袋井型授業づくり」を中心とした児童生徒の自らが考える力の向上に向けた取り組み
2. ICT技術の活用と教員の指導技能の向上
3. 特別支援教育や不登校対策に関する人的・物的環境の整備
4. 学校教育を支える支援・連携体制の充実

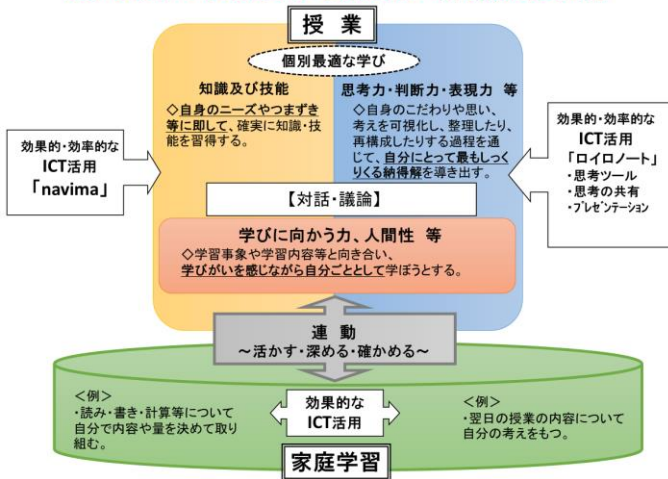
- 「主体的・対話的で深い学び」を推進する「袋井型の授業づくり」を推進している。
- 幼小中一貫教育の展開により、校種を超えた教員の理解が進んでいる。
- 支援員、スクールカウンセラーなど、教員業務を支える多彩な人材の活用。

- 他自治体に比べ、早期の学校におけるICT教育環境の整備。
- ICTを活用した教育に関する教員の技能向上と「取り組んでいる」という意識の向上。

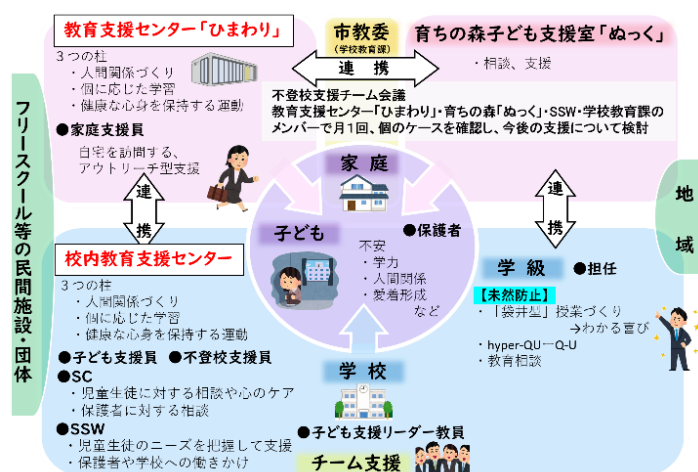
- 専門機関との連携など、特別支援教育を支える環境の充実
- 不登校対策に関わる体制整備
- 外国人初期支援の充実

- 学校教育を支える教育関係施設等のソフト・ハードに渡る環境の充実(日本一の給食づくり、まちじゅう図書館事業、公立温水プールを活用した水泳授業など)

袋井市のすべての子どもに実現したい「個別最適な学び」



◇本市の不登校支援に関する様々な支援機関



政策1:子育て 教育 (教育分野)

Weakness (弱み)

1. 学力向上、体力・体格の改善に向けた課題
2. 不登校の解消に向けた取り組みや特別支援教育の体制強化が課題
3. 教員業務の増加に対する働き方改革の推進
4. 学校施設の老朽化などへの対応と財源確保

- 「学力」においては、自分の考えを根拠をもって表現する力が弱い。
- 「体力・体格の改善」が図られない。

- 「不登校」の児童生徒の増加
- 「特別支援教育」の充実に向けた人的・物的な体制強化が課題

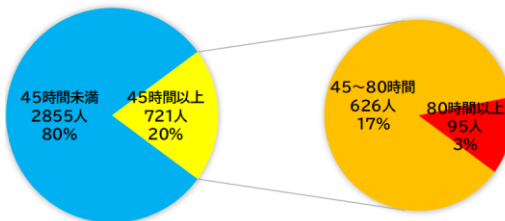
- 多種多様化する教員業務や保護者対応などによる教員の長時間労働と心身への負担の増加
- 古い体質からの脱却に向けた取り組みが消極的である。

- 校舎、プール、遊具等、学校施設の老朽化への対応
- 新たなICT機器導入への対応
- 学校を支える地域人材の確保(部活動移行含む。)

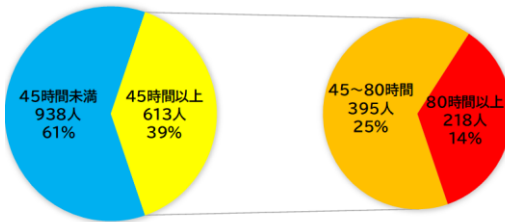
| 学年別不登校児童生徒数 | | | | | | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 【袋井市】 | | | | | | | | | | |
| 学年 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
| 小1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 6 | |
| 小2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 6 | 8 | 5 | 8 | 9 | |
| 小3 | 2 | 2 | 5 | 5 | 4 | 8 | 11 | 6 | 14 | |
| 小4 | 6 | 3 | 5 | 7 | 8 | 9 | 15 | 20 | 14 | |
| 小5 | 10 | 8 | 6 | 8 | 12 | 14 | 10 | 21 | 29 | |
| 小6 | 19 | 11 | 13 | 13 | 10 | 16 | 28 | 11 | 26 | |
| 中1 | 31 | 33 | 25 | 30 | 40 | 25 | 36 | 64 | 41 | |
| 中2 | 49 | 36 | 36 | 29 | 47 | 50 | 42 | 53 | 89 | |
| 中3 | 42 | 47 | 44 | 52 | 33 | 62 | 51 | 62 | 76 | |
| 小学校計 | 40 | 26 | 31 | 36 | 43 | 57 | 72 | 69 | 98 | |
| 中学校計 | 122 | 116 | 105 | 111 | 120 | 137 | 129 | 179 | 206 | |
| 合計 | 162 | 142 | 136 | 147 | 163 | 194 | 201 | 248 | 304 | |

| 【静岡県】 | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--|
| 学年 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
| 小1 | | | 84 | 94 | 113 | 99 | 135 | 188 | | |
| 小2 | | | 127 | 161 | 160 | 178 | 237 | 300 | | |
| 小3 | | | 194 | 214 | 303 | 258 | 335 | 426 | | |
| 小4 | | | 252 | 306 | 336 | 396 | 454 | 597 | | |
| 小5 | | | 343 | 430 | 488 | 511 | 668 | 774 | | |
| 小6 | | | 435 | 501 | 581 | 614 | 813 | 1,036 | | |
| 中1 | | | 1,004 | 1,027 | 1,178 | 1,112 | 1,503 | 1,735 | | |
| 中2 | | | 1,247 | 1,490 | 1,506 | 1,623 | 1,908 | 2,198 | | |
| 中3 | | | 1,361 | 1,467 | 1,616 | 1,586 | 1,977 | 2,193 | | |
| 小学校計 | 0 | 0 | 1,435 | 1,706 | 1,981 | 2,056 | 2,642 | 3,321 | | |
| 中学校計 | 0 | 0 | 3,612 | 3,984 | 4,300 | 4,321 | 5,388 | 6,126 | | |
| 合計 | 0 | 0 | 5,047 | 5,690 | 6,281 | 6,377 | 8,030 | 9,447 | | |

令和5年度 小学校 月平均時間外勤務の状況



令和5年度 中学校 月平均時間外勤務の状況



◇学校施設の整備年度比較

1970年代後半から80年代に整備した学校施設が、一気に老朽化を迎え、2020年代から約20年間に渡り、修繕費等が多額に必要となる。

